

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「お磨き物のススメ」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にてお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

さて、西光寺では例年報恩講の前にお内陣の輪燈などの真鍮の製品をお磨きします。ご門徒さまのお家のお仏壇の仏具も、年に一度はお磨きしてください。お家の報恩講の前にされることが多いようです。最近、長いことお磨き物がされてなくて、相当くすんでしまっている仏具も多く見受けられます。そもそも、お磨きをするということをご存知でないのかもしれない。仏具がピカピカになると、いよいよ報恩講をお迎えするんだなという気持ちになります。(お磨きしなくてもいい処理済み、またはメッキ済みのものもあります。念のため)もし、お家の仏具がどつちなかわからない場合は、住職がお参りさせていただいたときに、お気軽にお尋ねください。昔は真鍮磨きで手を真っ黒にしながら磨いて、仕上げに新聞紙でゴシゴシ磨

いて重労働でしたが、現代では液体に浸けるだけ!という製品も売っていますし、ネットで見ると『お酢』に浸けたりクエン

酸の水溶液に浸けたりして表面の酸化被膜を落とす(結果的にお磨きと同じ)方法も広まっているようです。

西光寺では、今年はお磨きを併用しました。液体に浸けるだけと



左がお磨き後、右がお磨き前

いう薬品を(高いので)少量だけ購入し、pHメーターで酸性度を測定し、濃度に見合ったクエン酸の水溶液を作成しました。ずいぶん楽になりましたが、やはり最後は磨き上げないと十分な光沢が現れません。でも、磨き上げて美しい光を放つ仏具を見るとうれしくなります。写真の前卓の大きな輪燈は、明治35年にご門徒で親戚の小石田鶴さまからご寄付いただいています。百年以上の間、お浄土の智慧の光明のシンボルとして輝き続けてくださっています。有り難いことです。

御正忌にお参りください。
15日(金) 昼2時・夜7時

「報恩講が厳修されました」

今年も浄土真宗寺院の最大のイベント、報恩講を西光寺でもお勤めすることができました。そのあたりの顛末はお寺のブログをお読みいただくと有り難いです。今年はお16日の大速夜にご門徒さま13名、ご門徒さま以外が4名、お初夜にご門徒さま2名、17日のご満座にご門徒さま2名、ご門徒さま以外が1名のお参りでした。みなさまからの御供えをどうも有り難うございました。お齋の炊込みご飯はいかがでしたか?電気釜とガス釜の2種類を使ったのですが、ガス釜の方が美味しく炊けました。来年は電気釜の方はお水を少し減らそうと思います。



16日大速夜のお聴聞のみなさま

「御正忌が厳修されます」

日	14時〜	19時〜
15日 (金)	速夜 正信偈草譜 御伝鈔拝読 法話二席	初夜 正信偈行譜 御伝鈔拝読 法話一席

福井市崇敬寺若院

ご法話

本願寺布教使

瓜生 順法師です。

今年は12月15日(金)に御正忌をお勤めさせていただきますことになりました。ご法話は昨年私が結婚式を執り行わせていただいた瓜生さんです。歳は若いですが、私より人生の先輩となられ、また、「お念仏のみ教えをいただいたからこそ今の私がある」と味わっておられます。私もお聴聞を楽しみにしております。みなさまもぜひお参りください。昨年同様、親鸞聖人の伝記である御伝鈔(ごでんしょう)お昼にも拝読させていただきますし、昼夜ともに住職の作ったおぜんざいをお召し上がりください。

「本願寺にお参りしませんか？」

京都の西本願寺では毎年1月9日〜16日に御正忌報恩講が勤まります。なんと今回は、阪北組の門徒総代会主催の研修旅行とし

てお参りできることになりました。老若男女問わず参加できます。西光寺のご門徒でないお友達でもOKです。もちろん住職もご一緒に参ります。みなさんぜひご参加ください。法要への参拝はもちろん、凜とした雰囲気(ごえいどう)の早朝の御影堂で、みなさんで白い息を吐きながらお勤めする正信偈の響きは、一度味わってみることをお勧めします。希望があればすぐに住職までご連絡ください。詳しい資料をすぐにお届けいたします。12月10日締め切りです。行程は

■10日(水) 三国↓日野誕生院↓法界寺↓
昼食↓本願寺参拝↓京の宿洛兆(宿泊)

■11日(木) 本願寺参拝↓ホテルバイキングの昼食↓二条城↓錦市場散策(お買い物)
↓三国 【参加費・2万5000円】

となっております。バス1台の予定です。

「年忌法要のご案内について」

来年(平成30年)に年忌法要を迎えられるご門徒さまには、『年忌法要のご案内』という文書を同封させていただきました。最近(ごさい)は年忌法要も簡略化の一途をたどっておりますが、ご門徒のみなさま(特に月参りなどでお会いしないご家族さまなど)に仏法に遇っていた(あ)機会(あ)は、法事か葬儀(あ)しかないと(あ)思っております。ですから、お通夜では必ず短くてもお話をさせていただきます。

し、法事でもできるだけお話をさせていたただこうと思っております。なるべく亡き方にご縁のあった方にはおいでいただき、みなさまご自身が仏法に会い、なかなか生きにくいこの娑婆世界(しゃば)でたとえ孤独であったとしても、決して見捨てることのない阿弥陀如来(あみだ)から願われている私であったと気づかされる(あ)ところに、お念仏とともに生き抜くことができる(あ)のではないかと思っております。ご連絡をお待ちしております。

「新年の寺報のPR募集」

今年の新年の寺報にPR号をおつけしましたが、来年も作りたいと思っております。今年掲載された方は修正希望をお知らせください。遠くのご門徒さまや、ご門徒さまのお勤めの会社やお店のPRでもいいと思います。昨年(ごさい)も紙面が余ったので、広告効果はほとんどないとは思いますが、ご門徒さまのお互いを知るだけでもいいのではないかと思(あ)います。ぜひぜひお知らせください。では、冬(ごさい)が来ますが乗り切りましょう。合掌

※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要なことは必ず住職の携帯にご連絡下さい。出られない場合は留守電に入れてください。

住職携帯 090-8967-7902

メール soichiro4989@gmail.com

ブログ 西光寺で最高時！